

しまはら 市議会だより



No. **231**

平成28年11月1日

12月定例会は有明庁舎で開会します。

主 な 内 容

- P2 平成28年8月臨時会及び9月定例会の概要
新庁舎建設に伴う議場及び議会事務局の移転のお知らせ
- P3 市政一般質問
- P11 委員会活動報告
- P16 8月臨時会付議事件、9月定例会付議事件、編集後記



QRコードから過去の
議会だよりも
ご覧いただけます。

平成28年8月臨時会及び9月定例会の概要

平成28年8月 臨時会

平成28年8月臨時会が8月5日に招集され、1日間の会期で開きました。

提出された議案は市内観光関係4団体を一つにして戦略的な島原観光を推進するために設立される「株式会社島原観光ビューロー」に対し、市が資本金として出資する4千万円を追加する平成28年度島原市一般会計補正予算案で、本会議において、原案を可決し、閉会しました。

平成28年9月 定例会

平成28年9月定例会は、9月2日に開会し、23日まで22日間の会期で開きました。今期定例会に提出された議案は18件、報告4件で、最終日には島原市選挙管理委員及び同補充員の選挙を行いました。

委員会審査の概要は11ページから15ページに、採決の結果は最終ページに掲載しております。

また、市政に対する一般質問には14名が立ち、その要旨は3ページから10ページに掲載しております。



市民の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

12月定例会は、有明庁舎3階において開会いたします。
なお、移転期間は平成28年11月から平成32年3月（予定）までです。

本市では、平成31年度の完成を目指し、新庁舎建設事業を進めています。
議場及び議会事務局は平成28年11月21日から有明庁舎へ移転します。

新庁舎建設に伴う議場及び
議会事務局の移転のお知らせ

市政のそこば聞きたか!!

一般質問

14人の議員が古川市政を問う

掲載している内容は9月6日から9日に行った市政一般質問の要旨です。
また、市議会ホームページでは各種議会情報、会議録の閲覧のほか、議会中継（生放送・録画放送）を見ることができます。



日本共産党
島田 一徳 議員

問 市財政と地方交付税について

Q 合併算定替制度や、地方交付税制度改革で、地方交付税が縮減される。また、国からの補助は期間が限定的な場合が多い。これらの点について、市長の所見は。

A 地方交付税の縮減は、地方自治体を運営する上で大変厳しい。また、国の補助が限定的なこともあり、事業を継続させる上で財源の捻出に苦心している事実もある。

Q 国の予算が縮減され、地方が行政改革として行う人件費の削減は、市民サービスの低下などにつながりかねず、市民にとって決断していいことではないと思うがどうか。

A 人口減に見合った職員数に縮小している。市民サービスの維持のために民間の力を活用していきたい。

Q 子どもの貧困についての対策は。

A 長崎県子どもの貧困対策推進協

問 福祉行政について

議会などで、情報交換をしながら取り組んでいく。

Q 返済不要の奨学金の創設など、子ども達の人生選択を狭めないための政策を

A 給付型などの新たな奨学金制度の創設は、教育委員会会の主要事業の一つと位置づけている。

Q 中学校卒業までは福祉医療制度の現物給付を実施すべきと思うがどうか。

A 中学校卒業まで医療費の助成を拡大している。

Q 国民健康保険の都道府県化の準備の進捗状況は。

A 県市町国保連携会議が設置され、細部について調整が行われている。

Q 介護予防・日常生活支援総合事業について、国から地方に丸投げではないか。サービスの低下が起きるのでは。

A 今までと同様のサービスが利用できるよう協議されている。

【その他の質問項目】
◆災害対策について



バラの会
本田 みえ 議員

問

からゆきさんを通して、
国際交流に生かせないか

Q 3月定例会で取り上げた「からゆきさんの歴史的認識」。天如塔を訪れる人も増え、新聞でも「からゆきさん 学び継承」と、静岡の高校生が修学旅行で訪れた記事が記載されるなど、歴史に関心を持つ人が増えている。マレーシアのクアラルンプールに、からゆきさんの墓がある。そこを清掃等している日本人学校の子ども達と、国際交流が出来るか。

A 中学生派遣事業は、1. 海外で活躍する日本人の講話、2. 英語を一定話す国、3. ジオ学習 の条件を満たす所で、現在、香港を選定している。英語が使われているのか、研究させて頂きたい。

【その他の質問項目】

◇子どもが担う社会の一役

◇福祉サービス第三者評価の推進について

◇島原城築城400年祭について

問

体育館の冷水器について

Q 3月定例会の予算委員会です。O・157が流行した時、全て撤去したので水道水を飲んでほしい」と言われたが、発生した事実、その時の状況は。

A 県南保健所管内における13年間のデータで、O・157等は毎年発生しており、本年は3件発生している。

Q 冷水器が原因か。

A どこが原因だったかは分かっていないが、生水を飲むことは危険性が高いということだった。

Q 図書館や市役所には、冷水器があるか。

A 機器の進歩により、安全性が非常に高まってきている機種があるものと考えている。

Q 名水百選に選ばれた島原には、冷水器もないのかとスポーツ大会で来られた方に言われた。今後、水を飲む場を確保してほしい。

A 小・中学生、スポーツ大会等、各自でお茶やスポーツ飲料を準備してもらおうようにしている。



公明党
永尾 邦忠 議員

問

特定健診・がん検診について

Q 特定健診・がん検診を推進し、早期発見、早期治療につなげてほしいが、市が行う各種がん検診では何件程度が早期発見できているのか。

A 平成24年度から3年間でのがん発見者数は、胃がん検診で13人、肺がん検診で11人、大腸がん検診で57人、乳がん検診で21人、子宮がん検診で18人となっている。

Q 「足病」とは糖尿病からくる壊疽により、下肢切断に至る病気である。本市の国保では約1900人の糖尿病患者がいるとのことだが、特定健診での医師による問診で、足のむくみや異常などを診察してもらう項目を追加することはできないか。

A 特定健診を委託している島原市医師会と協議し、検討したい。

問

スポーツによる交流人口のさらなる増加について

Q 本市スポーツにおける宿泊者数や経済効果はどうか。

A コンベンション・大会等に対する助成申請や施設の利用状況による集計では、各種競技団体主催及び市主催の大会を合わせた市全体で、延べ宿泊者数が2万7983人、経済効果は6億5981万円となっている。

Q ソフトテニスについては島原市で28の大会が開催されており、そのうち14大会は宿泊を伴う大会となっている。大規模な大会を誘致できるようにするため、島原二中のグラウンドを活用してコートを増設できないか。

A 学校施設に増設する場合、管理の問題や授業、部活動への支障、財源等の課題が考えられるが、人口減少社会における学校施設の効果的な活用を検討したい。

【その他の質問項目】

◇島原市の将来像について



実践クラブ
馬渡 光春 議員

問

公共施設等総合管理計画について

Q 人口減や老朽化等、施設の維持更新には多額の費用がかかる。①市施設の現状と基本方針は。②市の策定体制と今後の取り組みや国からの財政支援は。

A

① 144施設を所有、約47%が30年以上経過、主な79施設の維持費は約14億2千万円。市営住宅は961戸を管理し老朽化等で33戸は入居募集を停止している。②計画策定委員会を設置。来年2月に完成させて3月定例会に報告し公表したい。市民の意見はアンケート、パブリックコメント、市民会議等で聴く。平成28年度までに策定すると経費の50%が処置される。計画に沿って解体すると75%の地方債充当の特例がある。

問

公選法改正で投票年齢が引下げられた初めての参院選挙

Q

十八歳、十九歳の投票率は。

A

18歳は42・52%、19歳が22・39%で低い。

Q

他市では投票時間を短縮しても投票率は高い。本市も検討してみては。

A

生活行動の実態や市民の意見を聞いて慎重に対応したい。

問

保育施設・小中学校の危機管理について

Q 施設の爆破メールへの対応、諸活動への影響は。

A

県教委から連絡を受け、各小中学校へ通知を送付、口頭で必要な対応を指示、保護者には各学校で対応した。諸活動の自粛の周知があり中学校では部活を中止した。

Q

中ホール南側の屋外トイレの利用者から、男女同スペースの改善要望や意見が多い。

A

安心して利用ができるような内部の改装を検討したい。

問

公共施設のトイレ改修について（島原文化会館）

問

日本一億総活躍社会について



新風会
本田 順也 議員

Q アベノミクスの第2ステージとなる「新3本の矢」では、①希望を生み出す強い経済として戦後最大の名目GDP600兆円、②夢をつむぐ子育て支援として希望出生率1・8、③安心につながる社会保障として介護離職者ゼロを目標に掲げているが、本市における取り組みは。

A

①産業振興として、農業では農地集積の促進や生産基盤の整備、漁業では養殖施設の整備、商工業では企業立地促進・雇用創出事業や創業サポートセンターの開設により生産額の増加に取り組む。②すこやか子育て支援事業、すこやか赤ちゃん支援事業、子育て住まい支援事業、3世代ファミリー応援事業を実施しており、平成26年度の合計特殊出生率は2・04に伸びている。

問 観光一元化について

Q 観光組織を一元化し、新たに設立される株式会社島原観光ビューローについて、どのような形で市民との関わり合いを持つていくのか。

A

旅行形態が団体から個人に変わり、旅行に求める目的が多様化してきており、従来の観光事業者だけではなく、幅広く地域住民が観光まちづくりに関わっていくことが肝要である。新会社では社内にもちづくり部会を設け、まちづくりや祭り、イベント等のあり方など、地域住民の方々から幅広く意見を出していただく機会をつくっていききたい。

【その他の質問項目】

◇観光と移住について

◇外国人雇用受け入れを充実させたい



市民平和の会
草野 勝義 議員

問 子育て支援と白山保育園の存続について

Q 働く親の就労形態が多様化し、児童の預かり方も多様化する中、保育士の育成を含め、市の役割と課題は大きい。その役割を白山保育園が担うと思うが市の見解は。

A 保育会と情報交換を行い、保育行政全体で保育の質を向上させた。

Q 保育は教育と同じく営利でやる分野ではない。公的な保育園がゼロでは子育て支援の立場と逆行していると考え、民間移譲の見直しが必要では。

A 官民問わず、子ども達が健康に良質な保育で育つことが一番必要であり、市内各保育園どこでも良質な保育がされている。子ども達のこと、保護者のことを第一に考え行革を進めたい。

問 鉄道存続へ向けた支援策について

Q 県、諫早市、半島3市で構成する島原鉄道自治体連絡協議会では、どのような視点で事業を協議されているか。

A 鉄道は地域に不可欠な社会基盤と位置づけ、存続と安全性の確保に向けた支援を行っている。本年度の事業では、長崎の教会群とキリスト教関連遺産の世界遺産登録や九州新幹線西九州ルートの開業を見据え、公共交通の活性化と地域振興を図りたい。

Q 地域全体の利益という視点から、鉄道存続について住民の方々へどのように理解を求めているのか。

A 島原鉄道は、企画列車を走らせるなど頑張っている。まず、自汗をかいていただき、生産性のある列車を残すことで新幹線効果と呼び込みたい。

【その他の質問項目】

◆財政と企業誘致対策

◆水銀を処分する回収ボックスの設置を



平成会
濱崎 清志 議員

問 観光組織の一元化に向かっている株式会社進捗状況

Q 新会社の経営方針と目的は。

A 民間主導の観光推進体制を構築することなどを目指しているが、新会社設立後に具体的なサービス等の議論がある。

Q ①外部からの職員の公募状況は。②代表取締役は決まったのか。

A ①57名の応募があり、内10名と面接し、3名を雇用する方向で条件等を協議中。②現在調整中。

Q 解散する団体の従業員が新会社においても雇用されるというが、雇用条件などを伝えているのか。

A 今後、個別に条件や配属等について面談を行う。

Q 市の職員の出向があるのか。

A 現在は考えていない。

Q 10月の新会社設立まで時間がながい、市の関係部署全体で取り組ん

でいるのか。

A 各部署と十分緊密に調整をして取り組んでいきたい。

Q 飲食店の営業責任者、食品衛生の営業許可はどのようになっているか

A 飲食店の営業許可は市長で取得し、食品衛生責任者は地域おこし協力隊としている。

問 銀水の運営方法について

Q 職員の派遣、予算の使い方など市が都合のいいように解釈し運営しているのではないか。運営の透明性を確保し、働く人のためにも条例化すべきでは。

A 開店から多くの観光客に来ていただいたことやマスコミへの対応など、観光宣伝を行うため職員を派遣したが、整理すべき点は早急に整理する。

Q 観光施設一元化の流れの中で、なぜ銀水は市の直営なのか。

A 銀水は、地域おこし協力隊を活用して運営しており、当面は直営で行う。

【その他の質問項目】

◆ふるさと納税の意味と市民への還元効果

◆島原市土地開発公社について



庶民の会
林田 勉 議員

問 職員の頑張りは適正に 評価されているか

Q ①今年度から実施の人事評価とは。②昇給に関してはどうなるのか。③地域活動・職員提案なども評価すべきではないか。

A ①職員を能力と業績の両面から評価し、適材適所の人材配置や、めり張りのある給与処遇を実現したい。②職員の能力に合わせて5段階で評価し、特に優秀な職員は8号給昇給となり、一番下の評価では昇給なしとなる。③地域活動への参加については検討したい。職員提案の実績や成果がやる気につながるよう、表彰や昇給など処遇に反映していきたい。

Q ①現在の評価査定の状況は。②降給などの事例はあるのか。

A ①評価の成果は年度途中なのでまだ出ていない。②過去において分限処分の事例は記憶にないが、制度上、そういった仕組みが設けられている。

Q 職員のやる気を引き出す人事評価とはどう考えるか。

A 職務の成果をきちんと評価し、昇給・昇格に反映させることが職員のやる気につながると思う。

問 しまばら・ご当地ナンバー プレートの導入を

Q ご当地ナンバープレートと交通安全寄付金付きのプレミアムナンバープレートを作成して我が街への愛着と寄付金による子供たちへの安全確保ができないか。

A 大変夢がある。地方ならではのアイデアが盛り込めるのではないかと思う。

Q 大三東団地は高野小学校の児童数維持のために建設された経緯がある。子育て世代に優先して貸し出せないか。

A 空き室が出て、U・Iターン夫婦や子育て世代が入居する場合、何らかの手助けは可能だと思ふ。

問 高野小学校児童数の維持 を政策誘導でできないか

◆【その他の質問項目】
白土湖の藻の対策について

問 子どもの貧困と働く世 代の貧困について

Q 県民所得について、沖縄県では全国平均よりも低い調査結果が出ている。県民所得が同様に低い本市において子どもの貧困の現状把握はできているのか。

A 県下でも実態調査を実施したところはないが、重要な課題なので、調査方法等研修し実施に向け検討したい。

Q 若者の貧困への支援策は何か講じているか。

A 若者住まい支援事業を最長で2年間、子育て世代の住まい支援事業を最長で3年間実施している。

問 地域防災計画の見直し について

Q 地域防災計画の主な改善点は。

A 災害種別ごとに避難所を指定す



バラの会
楠 晋典 議員

Q 災害弱者と言われる方が有事の際に守られているのか。

A 避難行動要支援者名簿を整備している。災害が発生した場合、本人の同意の有無にかかわらず、町内会・自治会・消防団・民生委員などへ提供することができる。

Q 災害マップの内容と進捗状況は。

A 市全体の地図を半分。もう半分は、地区ごとに拡大したものを1枚に収めて、9月中に配布したい。

Q 溶岩ドームのよく見えるまゆやまロードをコースにできないか。

A 実証したところ、上り坂の勾配が大きく、車両に負担がかかり、困難と判断した。

問 水陸両用バス・ダック ツアーについて

Q 市民向けの低料金を設け、リピートさせるような取り組みはしないのか。

A 他地域の設定、採算性などを考慮して料金設定している。市民限定の割引料金などについては検討したい。



実践クラブ
北浦 守金 議員

問 島原道路の進捗状況

Q ①出平町から原口大橋間、②原口大橋から旧有明町境間、③島原道路全体の現状は。

A ①平成27年度までに測量、設計がおおむね完了し、28年度下期から用地交渉に着手すると聞いている。
②地権者の8割以上の測量同意を得て、順次測量に入っている。残りの方への測量同意を県と市と一緒に進めている。
③現在事業中の工区は諫早インター工区、長野栗面工区、森山拡幅、吾妻愛野バイパス、瑞穂吾妻バイパス、出平有明バイパスの6工区である。

Q 島原道路の整備は島原市民の願いであるので、早期完成に向けて努力してほしいが、いつ頃から工事に入るのか。

A 原口大橋から有明町の大野線までのルート変更により有明地区の測

量同意が遅れているが、三会地区の出平から原口間は用地交渉の進捗次第で先行して工事に着手するように県と相談している。

問 圃場整備の計画と進捗状況

Q 圃場整備が進められている①三会原第3地区と、②三会原第4地区の事業概要と事業費は。

A ①平成24年度から30年度までの工期で区画整理面積67ヘクタール、畑地かんがい面積88ヘクタールを総事業費26億3千万円で県営事業として実施中である。
②本年4月に事業採択され、平成34年度までの工期で区画整理面積87ヘクタール、畑地かんがい面積112ヘクタールを総事業費28億円で県営事業として実施中である。

【その他の質問項目】

◇銀水開店から今日までの現状について
◇ふるさと納税について



庶民の会
種村 繁徳 議員

問 眉山治山対策について

Q 大雨などにより砂防施設内に堆積している土砂は早急に排出する必要があると思うが市長の見解は。

A 主に7つの渓流があり、6月の大雨では大量の土砂が流れ出たが、流路疎通工や仮設導流堤の設置、砂防ダムの嵩上げなどを国や県において実施や計画がされている。

Q 6溪や7溪について、堆積土砂が見えていることなどから、住民の不安な声があるが、その対策は。

A 現地確認はしている。砂防ダムには大きな容量のポケットなどがあり、それを超えるということは想定されていないが、住民の不安解消に努めていきたい。

Q 土砂災害など、今まで経験したことがないことが起きている。早急な対応をしていただきたいと思いますか。

A 国では、熊本地震による九州内の被災国有林に長崎県では唯一、眉

山を位置づけている。指摘の件は、県を通じ国に申し入れをしていきたい。

問 農業振興について

Q 国の経済対策では、攻めの農業に対する支援策が組まれているが、本市の状況は。

A 融資を活用し機械や施設の導入を支援する事業に、12経営体から相談を受けている。

Q 基盤整備が進んでいない地区もあるが、有利な予算がある時に活用を考えては。

A 基盤整備は生産性の向上につながるので、有利な補助メニューを利用して進めていきたい。

Q ①長崎県干害急応急対策事業、②市の農業振興特別対策事業の事業内容は。

A ①水源から共同給水所までの水路の新設、水源施設の整備などの補助、②国、県の補助事業で整備した畑地かんがい施設の補修に対する補助事業である。

【その他の質問項目】

◇愛知県幸田町との交流の取り組みについて
◇選挙と投票率について



バラの会
松坂 昌應 議員

問

観光拠点を線から面に、歩いて楽しい城下町を

Q 観光の中心拠点島原城。様々な現状の活用を尊重しながらも、どこまで史実に近づけて維持するか。

A 市民皆さまのご意見を尊重しながら、歴史的景観を損なわないような活用を考えている。

Q 歴史的には、本丸へのルートは文化会館のある二の丸から廊下橋を渡るといふもの。現在の山側登城路はどうするのか。

A 築城時にはなかったものだが、既に多くの利用があるので、今後も活用していきたい。

Q ①武家屋敷地区の伝統的建造物群保存地区指定を急げ。②万町堀部邸を有形登録文化財に。③街並み景観賞は継続を。

A ①国からは下の丁の通りだけではなくもっと広い範囲での指定を目

指すよう言われている。②文化財指定の要件を十分備えている。③城下町のたたずまいを残す役割を果たしてきた。今途絶えているが、存在してしるべき制度だと思う。

Q 島原城は、島原市民のよりどころ。指定管理先となる(株)島原観光ビューローもまた、市民のものという意識が大事。その役割は。

A 島原城だけでなく、鯉の泳ぐまち周辺観光施設まで一体的に運営するので、現状を把握し、観光客にまち歩きをしていただくことが重要と考えている。

問 市長を囲む懇談会

Q 市長を囲む懇談会の反省点は。

A 市民の方からいろいろなご意見、ご提案などいただいた。行政として頑張っているが、それは内輪の論理で、的確に市民へ伝わっていないと実感した。伝えたと伝わったとは違う。一方通行にならないようにしたい。

【その他の質問項目】

◆給費型奨学金制度の提案はまだ

か
◆納税奨励金は今年度限りで廃止



チーム I
中川 忠則 議員

問

「いま、眉山は」広報しまばら臨時号について

Q 提案者は誰か。

A 私市長の提案で、IT企業で研修した若手職員と広報担当と市長とで、広報コンクールで毎年上位に入賞の霧島市に研修に行き、作成した。

Q 職員が提案をしているが、実現した場合、特別昇給をさせるべきと思うがどうか。

A 何らかの形で頑張ったことを認めるべきと思っている。

問

議会棟を別棟にし、空いているときには防災拠点、災害対策本部等の利用を

Q 普賢岳噴火災害を経験した本市庁舎には各種防災機能を備えるべきだと思いませんか。

A 合併特例債を活用するには今の実施設計で進めなければ間に合わない

問

島原城の堀の中を一部運動広場として利用できないか

Q 森岳地区の方々が利用できるような運動広場はできないか。

A 菖蒲園跡地を運動ができる広場として活用できるように早急に検討する。

問

「シェアリングエコノミー」について

Q 最近話題のシェアリングエコノミーとは。

A 場所、乗り物、物、人などインターネットを個人間で貸借、売買、交換しシェアする新しい経済の動きのこと。また、少子高齢化社会に対する行政サービスの課題を、公助から共助として民間同士による助け合いが促進されることも考えられる。

いが、非常用電源の上層階設置や災害対策本部、広域圏消防本部との連携は可能だと思ふ。
Q 新庁舎では階数を増やしても産業部と水道課は本庁舎に移すべきだと思ふがどうか。

A 現時点での実施計画を先行したい。将来的には増築等、その時代に合ったことを考えたい。

【関連質問】



実践クラブ
生田 忠照 議員

問 スポーツによる交流
人口増加について

Q 現在アリーナや人工芝競技場が整備され、剣道・サッカー関係者等の宿泊客が増加し、雇用につながり若者も定住している。行政は施設の整備に力を入れるべきでは。

A スポーツ交流は、即効性があり大変重要だと思う。施設の有効活用をして誘致活動を積極的に行う。

Q 県内最大の二中のグラウンドにテニスコートを6面新設できる。売上を伸ばす観点から先につながる税金の使い方をしてほしいと思う。

A 公共設備の総合管理計画を進める中で考えていきたい。

Q 私が入手したコートの工事見積は1面で1千万円だが、なぜ五千万円もかかるのか。

A 概算だが1面の工事費がコートとフェンスで2300万円、夜間照明が2500万円の合計4800万円。

議会を傍聴してみませんか。



次の定例会は12月

- ※市議会の本会議は自由に傍聴することができます。
- ※12月定例会は、有明庁舎で開会します。
- ※9月定例会の傍聴者は43人でした。

市議会からのお知らせ

インターネットで島原市議会会議録と 会議のライブ・録画放送がご覧になれます。

市議会の審議内容や市政に対する一般質問の内容などを市民の皆様
に広くお知らせするため、市議会ホームページに会議録を公開して
おります。

ことばや発言者など、さまざまな方法で検索できますので、
ご活用ください。



委員会活動報告

9月9日の本会議で付託された議案について、総務委員会（9月12日）、産業建設委員会（9月13日）、教育厚生委員会（9月14日）、予算審査特別委員会（9月16日）を開き審査しましたので、その概要をお知らせします。

付託された議案3件を審査しました。

○第36号議案

島原市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、国に準じて、選挙公営の公費負担の限度額を引き上げるため、この条例を改正しようとするもの。

質疑 選挙費用を公費負担する意味は何なのか。



答弁 候補者の選挙運動の費用が軽減され、候補者間の選挙運動の機会均等を図ることで、公平な選挙運動が期待される。

このほか、この条例を活用できる要件等について質疑がなされ、採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。

○第37号議案
島原市の長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、国に準じて、選挙公営の公費負担の限度を引き上げるため、この条例を改正しようとするもの。

質疑 ビラの大きさ、規格や記載内容は制限があるのか。また、自由にビラは頒布できるのか。

答弁 ビラの大きさは長さが29・7センチメートル、幅21センチメートルでA4サイズを超えてはならない。記載内容については制限はない。また、ビラの頒布は、新聞折り込み、街頭演説、選挙事務所内や個人演説会で頒布する4通りとなる。

このほか、予算は幾ら増額するのか等について質疑がなされ、採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。

○第38号議案
長崎県市町村総合事務組合規約の変更について

長崎県市町村総合事務組合規約を変更するため、地方自治法第2

90条の規定により議会の議決を経ようとするもの。

質疑 長崎県市町村総合事務組合の業務内容は。

答弁 共同処理の事務を行っているのは、退職手当、消防団員等の公務災害補償、議会の議員、その他非常勤職員の公務災害補償、公立学校医の公務災害補償、交通災害共済、その他、市町村会館等の維持管理や職員の研修に関する事務。

質疑 経費を削減方法として共同処理の事務をしているが、総合事務組合だけに頼ってしまうと、市の職員は退職金や公務災害の補償も計算ができないと思う。最低限、退職金の計算や消防団員の公務災害など身近なことは市において対応できるようにしておかないといけないのではないか。

答弁 共同処理する事務については、総合事務組合の条例で行っているもので、きちんとその条例を理解し退職手当の計算など市の職員も対応できるように指導をしていきたい。

採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。

産業建設委員会

付託された議案2件を
審査しました。



○第43号議案
平成27年度島原市
温泉給湯事業特別会
計歳入歳出決算

地方自治法第233条第3項の
規定により、議会の認定を受けよ
うとするもの。

歳入歳出決算額6億6767万
84円、歳出決算額6億6240
万4347円、差し引き526万
5737円の繰越決算。

質疑 平成26年度、平成27年度
で終了した給湯管及び加温設備整
備事業の事業概要は。

答弁 平成26年度は南側ルート
の配管と熱源関係の工事を実施
し、平成27年度は北側ルートと

ヒートポンプを含めて全体的な工
事を完了した。配湯管を総延長約
7・5キロメートル、熱源送湯管
を総延長約2・7キロメートル整
備した。2箇年で行った整備事業
の総事業費は、約9億6千万円で
ある。

質疑 加温方式を灯油ボイラー
からヒートポンプに切替えたとの
ことだが、灯油ボイラーは予備熱
源として残しておく必要があるの
ではないか。

答弁 昨年の12月から事業実証
中のヒートポンプが順調に稼働し
ていること、また、ヒートポンプ
の大きいものを2台、小さいもの
を4台導入し、そのうち実際の運
用は大きいものを1台、小さいも
のを2台で行うため、残りの3台
とあわせ、交互に利用できること
から、ヒートポンプのみで稼働で
きると考えており、将来的には、
灯油ボイラーは処分したい。

質疑 2箇年で給湯管や加温設
備の整備事業を行ったが、温泉使
用料の料金体系について、見直し
は行わないのか。

答弁 島原の温泉の灯を消さな
いということから、給湯管等の整
備事業をさせていただいた。これ
から事業実証を行うなかで、今後
の温泉給湯のあり方を再構築して

いく必要があると考えている。全
体的なコスト削減を見ながら使用
料等について、温泉給湯事業審議
会で議論していただき、議会へ
諮っていきたい。

このほか、給湯件数や特別供給
の件数が半減した理由、収入未済
額の対応等について質疑がなさ
れ、採決の結果、認定することに
決定しました。



排湯熱利用ルート図

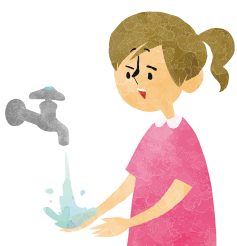
○第45号議案
平成27年度島原市水道事業会
計剰余金の処分及び決算

地方公営企業法第32条第2項の
規定に基づき、決算に伴う剰余金
を処分し、あわせて同法第30条第
4項の規定に基づき、議会の認定
を受けようとするもの。

質疑 有明地区、三会地区、安
中地区の工事進捗状況についての
質疑には、

答弁 有明地区では平成21年度
から25年度の5箇年で有明町簡易
水道の統合事業を実施し、現在は
配管の布設替え工事を実施中。三
会地区では26年度から29年度の4
箇年の計画で油掘・長貫簡易水道
の統合事業と三会水系高度浄水施
設等整備事業を実施中。安中地区
では、30年度から32年度まで工事
を実施予定として、現在計画を作
成中である。

採決の結果、原案のとおり可決
及び認定することに決定しまし
た。



教育厚生委員会



付託された議案4件を審査しました。

○第35号議案
島原市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

児童扶養手当法施行令の一部改正に伴い、所要の整備を図るため、この条例を改正しようとするもの。

質疑 今回の一部改正は、引用法令である児童扶養手当法施行令の改正による条項の繰り下げを行うだけの内容で、福祉医療費の支給における所得制限額や対象者の取り

扱いが変更になるものではないということだが、児童扶養手当ではどのような変更があるのか。

答弁 児童扶養手当の基本額は変更されていないが、第2子の加算額について現行の月額5千円が最高で1万円となり、第3子以降の加算額は現行の月額3千円が最高で6千円に増額となる。一方で所得金額によって一部支給停止や全部支給停止の措置をとることになっている。

採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。

○第40号議案
平成28年度島原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

248万4千円を追加し、予算の総額を83億9281万4千円とするもの。

質疑 国保の電算システム改修に伴う島原地域広域市町村圏組合への負担金の増額ということだが、どのようなシステム改修を行うのか。

答弁 平成30年度から国保の財政運営主体が都道府県に移行するが、都道府県は市町村に示す国保事業費納付や標準保険料率の算定

を行うことになる。市はその算定に必要なデータを県に提供する必要があるが、現在の島原市の電算システムと県のシステムを連携させるための改修を行うものである。財源については全て国費となっている。

採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。

○第42号議案
平成27年度島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

地方自治法第233条第3項の規定により、議会の認定を受けようとするもの。

歳入決算額86億838万8371円、歳出決算額85億3939万2859円、差し引き6899万5512円の繰越決算。

質疑 本市の特定健診の受診率の状況はどうか。

答弁 島原市の特定健診の受診率については、平成26年度が45・7%で、県内21市町の中で第7位である。平成27年度については、暫定値だが45・8%となっており、昨年度より0・1%伸びている。なお、全国の受診率の平均値は約35%、長崎県の平均値は38・2%で、長崎県は全国で17番目と

なっている。国の目標値である60%に近づけるよう、今後もさらに努力していきたい。

質疑 国保の財政調整基金の残高状況と、今後の見通しについてはどうか。

答弁 基金残高は平成27年度末で約8700万円である。歳入の減少と医療費の増加という厳しい状況の中、平成28年度は何とか予算編成をすることができた。今年度の医療費の支出状況等は、ある程度予測していた金額で推移しているが、引き続き厳しい状況が続くと考えており、平成30年度からの国保事業の都道府県化までは何とか運営していかなければならない。

質疑 高額医療費は年々増加しているようだが前年度と比較してどうなのか。また、増加の要因についてはどのように把握しているのか。

答弁 平成27年度の高額医療費は約5億6700万円で、前年度より約3000万円増えている。増加の要因として医療の高度化をはじめ、高額な薬剤の新たな保険適用の承認がされたことや、近年は癌の治療費が増えていることなどが要因として考えられる。

このほか、収入未済額や不納欠損の理由、外国人への収納対策の取り組み、健康づくり推進員の活動、保険料の軽減制度に対する国の財政支援等について質疑がなされ、採決の結果、認定することに決定しました。

○第44号議案
平成27年度島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

地方自治法第233条第3項の規定により、議会の認定を受けようとするもの。

歳入決算額5億7644万5643円、歳出決算額5億6623万3803円、差し引き1021万1840円の繰越決算。

質疑 保険料の軽減措置に対する補填措置についてはどうなっているのか

答弁 保険料の軽減分については、県が4分の3、市が4分の1を負担することになっており、金額として県負担分が1億2545万1119円、市負担分が4181万7040円となっている。

質疑 電算システムの不具合により発生した約300万円の過徴収分について、還付は完了したのか。

答弁 平成27年度末時点で1名を除いて還付が済んでおり、残りの1名の方についても本年8月に還付を行い、全て完了している。

このほか、保険料の軽減措置の状況、収入未済額の内容等について質疑がなされ、挙手採決の結果、認定することに決定しました。



予算審査特別委員会

審査に当たっては、まず常任委員会を単位とする各所管の分科会からの審査報告を行い、その後、総括質疑を行いました。

○第39号議案
平成28年度島原市一般会計補正予算（第4号）

3億251万7千円を増額し、予算の総額を245億5620万9千円とするもの。

質疑 しまばらプログラミング教育事業について、対象は何年生で、どれくらいの期間を考えているのか。

答弁 小学1年生から6年生までの50名程度を対象として2日間程度のキャンプを開催し、プログラミング教育の楽しさを体験してもらい、その後、プログラミング教育をホームティーチャー形式で実施するためにホームティーチャーの養成を行いたい。

質疑 空き家等対策事業について、空家等対策の推進に関する特別措置法が施行されているが、危険な空き家を市が解体することができるのか。



答弁 危険な空き家であっても個人の財産なので、市が勝手に壊すことはできない。空き家を解体される方は、市が除却に対する補助制度を設けているので活用してもらいたい。

質疑 農業用施設経費の事業内容は。

答弁 今年6月の豪雨により被災した農業用施設の修繕費用で、3箇所については国庫補助事業の申請を行い、国庫補助事業に該当しない40万円以下の12カ所の水路

を修繕するものである。

質疑 農業用施設と土木施設災害復旧費について、災害査定状況は。

答弁 農業用施設の現地査定は9月8日に終えており、事業費の決定後、速やかに工事に入りたい。土木施設については現地査定が9月26日の予定であり、年内には工事が完了できるように努めたい。

質疑 予防接種経費はどのような内容なのか。

答弁 予防接種法施行令の一部改正により本年10月からB型肝炎ワクチンが定期予防接種に追加されるもので、対象は平成28年4月1日以後に生まれた方で1歳に至るまでに3回接種することになっており、自己負担はない。

このほか、企業立地促進・雇用創出事業の申請内容、アスベスト改修支援事業の対象範囲、耐震安心住まいづくり支援事業、三小中学校の外壁改修工事の内容、三小原第3地区の発掘調査事業、平成町人工芝グラウンドの返還金等について質疑がなされ、採決の結果、原案のとおり可決することに決定しました。

ようこそ島原市へ（視察受け入れの紹介）

福知山市のイメージキャラクター



酒呑童子



ドッコちゃん

8月16日に本市と姉妹都市である京都府福知山市から、議会運営委員会の皆様が行行政視察のため来島されました。

視察には田中福知山市議会議長も参加され、議会運営全般や議会改革への取り組み、災害時における議会の対応などについて意見交換を行いました。

福知山市との交流については、江戸時代初期、寛文9（1669）年、当時の福知山城主であった松平忠房公が、肥前島原藩に国替えとなり、家臣とともに島原市へ移り住んだという歴史的な縁

により交流が始まりました。昭和58年3月には姉妹都市を提携し、文化・スポーツや市民団体による訪問などが通い合う交流が続いています。

今後とも姉妹都市として友好を深め、末永く交流が続くことを願っております。



（視察研修のようす）



（福知山市議会の皆さん）

議会だより

「音声版・点字版」のご案内

議会の活動状況を市民の皆様にお伝えし、身近に感じていただくため、定例会ごとに年4回「島原市議会だより」を発行し、市内各世帯に配布しています。

また、目の不自由な方向けに、音声版、点訳版を、島原市のボランティア「ゆずの会」及び、島原点訳サークル「がんばっ点!」の皆さんのご協力により、それぞれ発行しています。

◇音声版、点字版をご希望の方は、福祉課障害福祉班へお申し出ください

連絡先

電話 63-1111
(内) 273



平成28年8月臨時会付議事件

事 件 名	議決結果
第33号議案 平成28年度島原市一般会計補正予算（第2号）	原案可決

平成28年9月定例会付議事件

事 件 名	議決結果
報告第4号 平成27年度島原市温泉給湯事業特別会計継続費精算報告について	報 告
報告第5号 財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報 告
報告第6号 専決処分の報告について（損害賠償の額の決定）	報 告
報告第7号 専決処分の報告について（損害賠償の額の決定）	報 告
第34号議案 専決処分の承認について	承 認
第35号議案 島原市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第36号議案 島原市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第37号議案 島原市の長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第38号議案 長崎県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
第39号議案 平成28年度島原市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
第40号議案 平成28年度島原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
第41号議案 平成27年度島原一般会計歳入歳出決算	継続審査
第42号議案 平成27年度島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認 定
第43号議案 平成27年度島原市温泉給湯事業特別会計歳入歳出決算	認 定
第44号議案 平成27年度島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認 定
第45号議案 平成27年度島原市水道事業会計剰余金の処分及び決算	原案可決 及び認定
第46号議案 公の施設の指定管理者の指定事項の一部変更について	原案可決
第47号議案 公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
第48号議案 人権擁護委員の候補者の推薦について（上田幸治氏）	同 意
第49号議案 人権擁護委員の候補者の推薦について（元島和枝氏）	同 意
第50号議案 人権擁護委員の候補者の推薦について（宇土和俊氏）	同 意
第51号議案 人権擁護委員の候補者の推薦について（永田香代子氏）	同 意
島原市選挙管理委員及び補充員の選挙について	選 挙

編集後記

市役所の新庁舎建設により市議会も有明庁舎に仮移転します。
昭和46年に現議会棟が建設され45年間の議場の歴史が、この9月議会で幕を閉じました。

市長選挙後の12月議会は、有明庁舎で開会することになりますが、経費削減のため、多目的に利用できるように議場の机等も移動できるようにしています。

議場は仮設ですが、議会は変わることなく、新市長と活発な議論を交わし、新庁舎の建設はもちろん、安心して住める環境整備に議会としても取り組んでまいります。

議会に対する市民皆様のご意見等をお寄せください。

議会だより編集委員会

委員長	北浦 守金
副委員長	林田 勉
委員	濱崎 清志
委員	本田 順也
委員	中川 忠則
委員	草野 勝義
委員	島田 一徳

12月定例会は、有明庁舎で開会します。